



Executive Interview

エグゼクティブ
インタビュー

no.62

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

丸泉興業株式会社 代表取締役

市川 真弓 様

川崎市内で特に目にする機会が多い、ブルーとホワイトの車体に、赤い丸に泉のロゴのついたトラック。関東近県に事業を展開する丸泉興業は今年で創業40周年。代表取締役、市川真弓様に継承の経緯や今後の展望を伺いました。

■ 運送一筋。 走り続ける覚悟を胸に

——創業の経緯を教えてください。

山梨よりトラック1台で上京した父が叔父と共に鉄鋼や原木などの運搬を経て1977年に創業しました。兄弟二人で築いてきた会社です。2014年に父が亡くなり、翌年9月には創業から父を支え続けた叔父も亡くなりました。当時、取締役会では創業者二人の「理念」を継承しつつ、次世代に向け新しい風を吹き込む必要性を感じていたそうです。同年10月、私に声が掛かり覚悟を胸に代表取締役就任しました。

——丸泉興業に勤務していたのですか？

他業界の仕事に従事していましたが、父と叔父、二人が身を粉にして社員の皆さんと築いてきた会社のためならば、と引き受けました。代表に就任し2年目ですが、他業界の経験で得たヒントや手法を

改善案として新たに取り入れたり、役員や400人を超える社員の方々、それに妹と叔父の長女もバックアップし支えてくれているので、皆の協力に感謝し日々を送っています。

——環境が激変しましたね。

運送業界はまだまだ男性が主力の職場です。最初の頃は、男性社員たちが自動販売機前で立ち話をしている間に入っていくことさえ躊躇していました。しかし先代が亡くなった後にも、各種法令の改正や労働時間問題など、運送会社として変革の節目を迎えていることを強く感じ、即実行に移りました。更なる安全・輸送品質の向上、働き甲斐のある職場環境改善、女性活躍推進、社員研修など重点課題にスピード感を重視して取り組んでいます。これらの活動を推進していくうえで、先代たちが作りあげてくれた基盤を継承していくとともに、それらが普遍的にいか

大切なものであるかということを学ばせていただきました。

——先代が作り上げた基盤とは？

何といっても「人財」です。いざという場面での団結力や、やるときはやる、簡単にあきらめない、そうしたスピリッツ＝「丸泉イズム」を皆が共有しており、協力し合い、人を大切に思いやる社風があります。業界全体ではドライバー不足と言われていた中、弊社の乗務員の紹介で応募していただき、有難いことに採用待ちをお願いすることもあります。また「お客様からの



創業者である叔父(故)市川 時男氏(左)、父(故)市川 隆祐氏(右)



普遍の「理念」を継承し、安心安全な 未来に向けた変革を推進中。

依頼は絶対に断るな」というのが先代のポリシーでした。おかげ様で長くパートナーシップを結んでいただいているお客様や人伝いにお仕事をいただけることも多々あります。一生懸命に仕事に励む皆の頑張り、会社が好きだと言ってくれる社員の思いをしっかりと受け止め、安心安全でお客様に喜んでいただける会社、社員が笑顔になる会社を目指します。

■ 働きやすい社内環境の整備に注力

——変革として行ったことは？

仕事を優先しがちで不足していると感じたのが、社員の「体と心の健康管理」です。前職では、健康や命の大切さに接する仕事をしていましたので、この想いはより強く、年2回の健診、結果フォロー、日々のフェイスチェックの重要性など指導を徹底しています。また、働きやすい職場づくりとして設備投資を行い、環境改善や5S活動を推進しています。老朽化していた事務所を改装したり、休憩所のソファを取り換えたり、車庫の照明を増設したり、改善の見える化を重視しました。壊れた設備を使っていればいずれ事故や災害に繋がることも予測され、未然防止の観点からも推進しています。安全で働きやすい職場環境は仕事の効率向上にも繋がりますね。現場の声から今年の夏にはユニフォームのリニューアルも予定しています。一方、自分たちの手による参加型環境整備活動も行っています。月1回「全社一斉5Sの日」を決め、私も役員ももちろん参加し社員で

実施します。初めは反発があるかなと思いましたが、皆、前向きに参加してくれて、この活動は既に1年以上継続しています。

——逆に守らなければいけないと考えた部分はありますか？

社訓にもある「共存共栄の精神」を大切にしています。お客様、地域の皆さま、協力会社の皆さま、社員、繋がるすべての人々との関わりを大切に考え行動してきた結果、支えられ、こうした今があるのだと思います。取引先様とのお付き合いをはじめ、今後はもっと「人材」の育成や「人」にこだわった経営が重要ではないかと感じています。事業拡大は本業のみ、という一本筋を通してきたことも多品種を取り扱う弊社の強みとして重要な要素ではなかったでしょうか。果敢に挑戦し攻めの姿勢は崩さない、立ち止まらず成長し続けなければならないと。現状、仕事にも人にも恵まれ、道路を走る弊社のトラックを目にするたびに会社を支えてくれているドライバーたちに感謝の念が湧いてきます。そして「私も頑張らなければ」という気持ちになります。

——従業員の交流を推進しているとか。

コミュニケーションは大切だと思います。ふとしたことでボタンを掛け違えたまま、

誤解し、人間関係がすれ違ってしてしまうのは残念です、まず話をしないと。私自身も各営業所を回って懇親会を開き、生の声を直接聞くようにしています。そうすれば足りないところが見えてきますから。

——9月に行われる創立40周年の懇親会は特別なものになりそうですね。

特別な日なので、社員全員でお互いを褒めたたえ、労い、そして未来へのヴィジョンを共有したいと思います。著名人の講演や、懇親会では紅白出場歌手の方のショーを皆に楽しんでいただきたいと思います。



本社事務所をはじめ、女性社長の下で働く女性従業員も多くなっています。男性社会と言われる業界が変わる節目を感じることができます。

<インタビューを終えて>

インタビューを見守っていた常務は「一緒に働いていなかったにもかかわらず、父と娘、決断の素早さと確固たる経営方針は驚くほど重なっています」と私たちに語ってくれました。仕事に生きた昭和の男である先代は、家庭よりも会社で過ごした時間の方が長く、病に倒れてからも仕事を気にしていたようですが、人を惹きつける力や気質は、無意識のうちに引き継がれ、未来へ向かう力となっているようです。

丸泉興業株式会社

本社
〒210-0826 神奈川県川崎市川崎区塩浜4-7-1
TEL : 044-277-1211 (代)
FAX : 044-277-1222
<http://marusen-k.co.jp/index.html>